

<米国・欧州特許“無料”セミナーのご案内>通訳付き

米国と欧州に拠点を持ちます、Ladas & Parry LLP (ラダス・アンド・パリー国際特許法律事務所。以降、「ラダス」と呼びます)が無料セミナーを東京で開催します。本日は、そのご案内をさせていただきます。

12月14日と16日に、John Richards (ジョン・リチャーズ米国・EPO・UK特許弁護士。フォーダム・ロースクール準教授)、Cliff Mass (クリフ・マス米国特許弁護士。ラダスのニューヨーク事務所の化学分野のリード・パートナー)、Laurent Lusinchi (ロラント・ルシンチEPO特許弁護士。電気・電子分野、ロサンジェルス・オフィス)の3人が来日して、セミナーを開催します。

このセミナーは、毎月のWebinarにご参加いただいている方向けに企画したものです。AIPPI JAPAN会員企業の皆様を各回10名ずつ、お招きしたいと思います。

期日は、12月14日月曜日と、12月16日水曜日のそれぞれ、午後1時半から4時半を予定しております。

「生」セミナーですので、これまでのWebinarのように「インターネットと電話で」というわけには参りません。そこで、各地からご参集いただく皆様の便利を考えて、会場は、東京駅のすぐ近く、パシフィック・センチュリー・プレイス・ビルの8階、リージャス丸の内センターの会議室を会場にしたいと思います。このリージャス丸の内センターは、東京駅八重洲口から雨にぬれずに行けるOfficeとして、人気の高いエグゼクティブ・オフィスです。

[リージャスへ地図](http://www.regus.co.jp/gmap/print/location/PacificCentury.html) (<http://www.regus.co.jp/gmap/print/location/PacificCentury.html>)

12月14日月曜日 午後1時半から4時半まで

化学・バイオに強い二人の講師による、化学・バイオの題材に触れながら、「最近の米国特許事情について」を皆様おなじみの[ジョン・リチャーズ](#)からお話させていただきます、その後に、バイオ・化学関係を専門としている特許弁護士の[クリフ・マス](#)から、「自明性拒絶への対応戦略」についてお話をさせていただきます。

12月16日水曜日 午後1時半から4時半まで

今度は、最初にジョン・リチャーズが米国のお話、特に特許権行使の障害となる「inequitable conduct (非衡平行為?) 議論に打ち勝つには」また「請求項の明確性を高めるためには」のお話をさせて頂き、その後に、電子・電気系を専門、また、EPOへの特許申請を専門としている[ロラント・ルシンチ](#)が、EPOの動向、USPTOとの対比について、お話しします。

どちらも、逐語ですが通訳を付けます。以前、AIPPI JAPAN主催のセミナーで通訳をしていただきました、海老原千明さんをお願いしています。

ご参加を頂ける方は、14日、16日のご希望を明示して（どちらでもという申し込みも可ですが、両方は、何卒、ご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

下記の申し込みフォームにご記入を頂き、メール (eokuyama@ladas.com) か、Fax (米国+1-240-597-1052) で参加のお申し込みをお願いいたします。

申し込みフォーム：	
お名前（漢字・ローマ字両方でフルネームを頂けますか？）：	
御社名：	
E-mail：	
ご希望日：	<input type="checkbox"/> 14日 <input type="checkbox"/> 16日 <input type="checkbox"/> どちらでも

念のため、添付にセミナー申し込み用紙を添付しました。こちらから、確認が届きましたら、申し込み完了とさせていただきますと思います。

是非、12月14日か16日に、東京駅パシフィック・センチュリー・プレイス・ビルでお目にかかりたく存じます。予定を空けていただき、是非、今すぐお申し込みの上、ライブ・ウェビナーにご参加下さい。

奥山 英二
Of Counsel
Ladas & Parry LLP
New York Office

お問い合わせは、奥山、eokuyama@ladas.com まで、お寄せ下さい。